

第1回 教職の魅力創造プラットフォーム会議事録（案）

日時:令和3年11月22日(月)16:30~17:45

場所:山形大学地域教育文化学部会議室

出席者

委員	出口 毅	山形大学副学長（教育担当理事）
	大森 桂	山形大学地域教育文化学部 学部長・大学院教育実践研究科 研究科長
	石垣 和恵	山形大学地域教育文化学部 准教授
	森田 智幸	山形大学大学院教育実践研究科 准教授
	井上 文	山形県教育庁高校教育課 指導主事
	渋谷 宗馬	山形県立山形西高等学校 教諭
	有路 将則	山形大学地域教育文化学部児童教育コース4年
	平田 順之	山形大学地域教育文化学部児童教育コース4年
	田中 瑞葵	山形県立山形東高等学校2年
	佐藤 蓮	山形県立山形西高等学校2年
	樋渡 美千代	酒田市立一條小学校 校長
	山科 勝	山形大学大学院教育実践研究科 准教授

欠席者

委員	佐藤 博晴	山形大学地域教育文化学部 副学部長
	江間 史明	山形大学大学院教育実践研究科 教授
	青柳 敦子	山形県立長井高等学校 校長

議事に先立ち、出口副学長の挨拶、委員の自己紹介が行われた。また、協議事項は、「山形大学地域教育文化学部及び大学院教育実践研究科教職の魅力創造プラットフォーム会議規程」第5条により、大森桂委員を議長として進めることが提案され、了承された。

議 題

I 協議事項

1 教職の魅力創造プロジェクトのねらいについて

森田委員から、資料3に基づき説明があり、本プロジェクトのねらいについて確認がなされた。

なお、以下のとおり意見交換があった。

- ・教員体験セミナーはどれくらいの期間で実施されているのか。
- ・今年度の教員体験セミナーの実施は、新型コロナウイルスの影響で受け入れ時期がずれ込んでおり、12月上旬から1月にかけて実施できるよう小学校と調整している段階である。
- ・教員体験セミナーを含め、本プロジェクトが小学校向けの対象となっているが、中学校や高校は対象とならないのか。
- ・高校生の委員にお聞きしたいのだが、小・中学校時代に教員になりたいと思っている友人はいたか。
- ・自分は中学時代の経験から、中学校の音楽の教員になりたいと思っている。周りで小・中学校時代に教員になりたいと思っている友人はいなかった。
- ・自分の周りにも教員になりたいと思っている友人はあまりいない。小・中学時代は教えられる立場であったが、高校生になってから人に教えるという視点を持つようになり教員になりたいと思うようになった。

- ・昔は教員になることは推奨されている雰囲気があったが、やってみると楽しい職業であるはずなのに、教員は大変だというイメージを持たれている風潮があるのではないか。
- ・高校3年次までは別の夢を持っていたが、人に教えるという夢にシフトしていった。当初は高校の教員を意識していたが、教育実習を通して小学校の教員へシフトしていった。
- ・小・中学校での恩師との出会いを通して教員への道が広がった。

2 教職の魅力向上プロジェクトの進捗状況について

森田委員から、資料3・4に基づき学びのフォーラム、聞き書きプロジェクトについて、井上委員から、教員体験セミナーの進捗状況について説明があり、本プロジェクトの進捗状況について確認がなされた。

なお、以下のとおり意見交換があった。

- ・教員体験セミナーについて、体験を希望したい学生は県全域にいると思うので、県全域で実施できるようにはできないのか。
- ・学びのフォーラムのような場が自分の出身県ではなかったので、大学生と高校生とが話す機会が得られることはとてもいいことだと思う。

3 今年度の今後の予定について

森田委員から、今年度の今後の予定について説明があり、確認がなされた。

II その他

1 次回開催日

次回は令和3年12月19日（日）の9:30より開催する予定である旨発言があり、確認がなされた。

2 その他

出口副学長（教育担当理事）から、以下のとおり発言があった。

- ・本プロジェクトを含め、継続した事業展開していくためにも予算の裏付けを含めて検討していく必要がある。
- ・本会議は山形大学のなかの会議であるが、課題解決に向けて地域や他大学との連携も含めて大きな視点で検討していく必要がある。

